

■ 「まちづくりのツボマップ」作成に伴う地域の課題と、解決の視点・方向性について（その1）

カテゴリー	現状・課題	今後の可能性 解決の方向性・視点	都市マス・立地適正化 計画への反映（案）
出産・子育て	【保育園】 ・江差市街地はかもめ保育園。 ・市街地外は日明・水堀2園。 ・道立病院に院内保育所あり。	・将来的に日明・水堀の統合の可能性 →統合場所は要検討 →学童との複合化も	【都市構造】 ・子育て支援機能を含む「田園・生活拠点」を配置 【土地利用】 ・公共施設等の再編・複合化 ・（全町）保育園、子育て支援センター ・（地区・学校区）学童保育 【交通】 （保護者による移送） （バリアフリー化へ配慮） 【公園・遊び場】 ・必要な場所の公園遊具更新 ・屋内遊び場の確保（子育て支援や地域交流機能との複合検討） 【実現に向けて】 ・空き地・空き家を柔軟に活用した相談場所・遊び場の検討 【立適】 ・子育て支援・多世代交流を誘導施設に設定
	【幼稚園】 ・あすなる幼稚園閉園予定。（R2）	・私立江差幼稚園の1園体制（R2以降認定こども園移行予定） ・あすなる幼稚園跡に学童保育移転、その他多世代交流の場を検討	
	【出産】 ・町内医療機関の連携体制。	・現状体制の維持	
	【発達支援】 （就学前・乳幼児） ・保健センターと上ノ国町（子ども発達支援センター）の連携。	・現状体制の維持	
	【子育て相談】 ・江差市街地に育児サポートサークル。 ・日明保育園の子育て支援センター。（月3回）	・子どもの遊び場確保との連携	
	【学童保育】 ・水堀、なかよし児童会、つばさ児童会。 ・小学校に近接又は空教室活用。	・小学校ごとに配置を基本 ・あすなる幼稚園跡に学童保育移転、その他多世代交流の場を検討	
【遊び場】 ・遊具利用できない公園（松の岱） ・雨の日の遊び場がない。	・身近な遊び場の確保 ・屋内の遊び場の確保 ・車で移動～かもめ島・開陽丸		
地域コミュニティ	【集会所】 ・日常の会合、娯楽、運動に利用。 ・郷土芸能、祭りの稽古など ・葬儀のニーズは低下。 ・民間に管理委託している施設も。	・基本的に現状を継続 ・今後老朽化等による更新が発生する場合、規模縮小も検討	【都市構造】 ・コミュニティレベルの“身近な拠点”位置づけ 【土地利用】 ・地域住民の協力による良好な住環境、住宅地景観の保全 【防災まちづくり】 ・自主防災活動の促進 ・避難路・避難場所の確保 【実現に向けて】 ・地域包括ケアシステム構築と連携（医療、介護と連携） ・地域まちづくり活動と連携 【立適】 ・町民の憩い・遊びの中核になる、地域交流センター機能等の誘導施設設定の検討 （旧江光ビル跡、北の江の島付近などを検討）
	【町内会活動】 ・安否確認～有志・ボランティア ・行事の参加者、担い手減少。 ・冬期間の除雪の問題。 ・転勤族、アパート住民との交流。	・生活支援体制の再構築（福祉、まちづくりと連携） ・町内会行事の参加促進 ・祭りとの連携 ・様々な主体との交流・連携（学校、企業、サークル・団体、交流人口、関係人口等） ・一部行事は複数町内会で合同化を検討	
	【地域の防災対策】 ・町内会ごとの備蓄品の配布 ・津波時の避難体制が不備	・避難経路の検討 ・避難体制の整備	
	【町内会以外のコミュニティ】 ・祭り～13の山車、帰省組 ・江差追分関連、郷土芸能 ・趣味のサークル、スポーツ ・介護・福祉、子育て相談 ・生涯学習、学校（コミュニティスクール、PTA） ・神社、寺院関係 ・その他、まちづくり活動	・それぞれの活動場所を維持することが基本 ・活動の場が不足する場合には空き地・空き家、公共施設の空きスペースを活用して活動を展開	

■ 「まちづくりのツボマップ」作成に伴う地域の課題と、解決の視点・方向性について（その2）

カテゴリ	現状・課題	今後の可能性 解決の方向性・視点	都市マス・立地適正化計画 への反映（案）
医療・介護	<p>【医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療構想による広域的な観点からの役割分担 佐々木病院、勤医協江差診療所による1次医療と道立江差病院による2次医療の連携体制 将来は1次医療体制の維持が課題（医師の高齢化、緊急医療体制など） 通院客の函館方面への流出傾向（通院ついでに買い物） 	<ul style="list-style-type: none"> 2次医療機能（道立江差病院）の維持 町内への1次医療機関の誘致検討 円滑な移動体系の維持・構築 	<p>【都市構造】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉(デイサービス)機能を含む「田園・生活拠点」を配置 「まちなか拠点」に1次医療機能を位置づけ <p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療・介護等生活サービス機能の確保 <p>【道路・交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通院・買い物等に柔軟に対応する新たな移送サービスの検討 <p>【実現に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療、介護、健康、互助等分野横断的な連携 <p>【立適】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1次医療機関を誘導施設に設定(地域医療構想と整合)
	<p>【介護】（通所施設に着目）</p> <ul style="list-style-type: none"> 北部、田沢、円山、桧岱にデイサービスが立地 ヘルパー、ケアマネジャーなど介護職の人材不足 	<ul style="list-style-type: none"> デイサービス施設の増設の可否について、高齢者の将来人口の動向を加味して検討(介護保険事業計画による) 生活体制整備事業の推進(コミュニティで支える互助のしくみ・機能の検討) 	
市街地・商店街	<p>【買い物環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去に大型の店舗が撤退 商店街全体の品ぞろえ不足が、外への購買流出を助長 買物バスは商店街の集客が得られず廃止 柳崎や上ノ国への買い物も多い キャッシュレス対応への懸念（追分カードのメリットどう引き継ぐか） 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街全体で食料品・日用品が一通り揃うまちへ(今は鮮魚店が必要) 商店街全体のエリアマネジメント 	<p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存商店街の機能の維持 空き店舗・空きビルなどのリノベーションや改修なども含めた起業促進 散策・周遊しやすい商店街空間の整備(歩行者の安全確保、歩きたくなる環境) 便利なまちなかへ居住誘導 <p>【道路・交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通院・買い物等に柔軟に対応する新たな移送サービスの検討 来訪者が利用しやすい商店街づくり(駐車場の適正確保、道路空間の利活用など) <p>【景観まちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古き良き商店街 <ul style="list-style-type: none"> 歴まち通、法華寺通、 愛宕町 おもてなし〜花づくり等 眺望点の創出・発信(鷗島、上町) <p>【実現に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街への集客を促す、各種ソフト事業の展開 <p>【立適】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域交流機能の誘導 既存スーパーと同規模の商業機能の維持(誘導施設設定) 駐車場の適正配置 1次医療施設立地誘導 便利なまちなかへ居住誘導
	<p>【集客・賑わい】</p> <ul style="list-style-type: none"> 上町と下町は実際に距離がある 商業機能だけでの集客は困難 江光ビル跡地は、交流スペースとスポーツジムの複合を念頭に置いている 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に人が集まる機能・手段(交通を含む)の検討 訪れた人が商店街にお金を落とすための方策 集客に関して実証的な取り組みを展開(屋台・スポーツ関連上町、下町が連携した新たなイベント等) まちづくりカフェの活動、江光ビル活用施設の機能との連携 	
	<p>【地域ブランドの発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発信力のある“江差ファン”の取り込み 地域のブランド力のある企業との連携(五勝手屋羊羹など) インスタ映えする場所の創出・発掘 江差の夕日のPR ベッキーの江差産スナックエンドウのパン 昔ながらの原材料を使った羊羹の復刻 	<ul style="list-style-type: none"> 加工・製造の体験の場 原材料の生産プロセス収穫体験等 郷土菓子(こうれん)等 夕日等眺望場所の発信 	

■ 「まちづくりのツボマップ」作成に伴う地域の課題と、解決の視点・方向性について（その3）

カテゴリー	現状・課題	今後の可能性 解決の方向性・視点	都市マス・立地適正化計画への反映（案）
観光、関係人口、歴史、文化（祭り）	<p>【鷗島へのアクセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団での観光から個人観光へ ・ 多くの方が鷗島をランドマークとして目指してやってくる。 ・ 鷗島の入り口が分かりづらい。 ・ アクセス改善のため、国道曲線部の改良を求める意見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北の江の島構想の具体化に合わせ、鷗島入口周辺の土地利用の再編、アクセス方法、案内サインの改善を検討 	<p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北の江の島エリアの拠点形成に合わせた鷗島入口周辺の土地利用の再編検討（卸売市場など） <p>【道路・交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鷗島に分かりやすくアクセスする方策の検討 ・ 町内外の人たちが利用できるバス交通の結節点の検討 ・ 鷗島・北の江の島エリア、上町・下町エリアの快適な歩行空間の創出
	<p>【上町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財建物のある街並み。（金丸家住宅、法華寺通りの建物など） ・ 観光バス等アクセス改善の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法華寺通りの歴史的景観の保全 	<p>【公園・緑地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊び場や憩い・交流の場となる広場・オープンスペースの確保（北の江の島）
	<p>【下町】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国道沿い、海側から見える「ハネダシ」の景観も重要。 ・ 函館の中学校では江差の街を散策しに来るのが定番。 ・ 多くの観光客は中村家～姥神神社しか歩かない。 ・ 横山家の休止—保存・活用の課題 ・ 姥神土蔵の全体的な保存・活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (いにしえ街道) 歴史的景観建物の保全活用 ・ 国道沿いの歴史的景観の保全 ・ いにしえ街道のポイントとなる空間の整備 	<p>【景観まちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 眺望点や文化財、祭りや江差追分関連等、景観資源周辺の環境の保全・整備 ・ いにしえ街道などの散策空間の魅力向上
	<p>【江差追分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海を見ながら江差追分を歌う光景 ・ 市街地の「道場」から、江差追分の稽古の様子が聞こえる光景。 ・ 全国大会の開かれる「文化会館」は江差追分の聖地。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「音風景」として江差の景観資源の一部に取り込む ・ 文化会館、道場も含め、江差追分に関する周遊の促進 	<p>【実現に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部の“江差ファン”から協力・資金を集める手立て ・ 更なる魅力を発信する体制・手立て ・ 日本遺産を支える祭事や伝統行事、伝統芸能の体験・伝承の場
	<p>【祭り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りの準備の担い手不足。 ・ 人口減で補修費用の調達が困難。 ・ 祭りの時期に鷗島でキャンプする人もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (観光客向) 山車の後引き体験 など 	<p>【立適】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化会館、江差追分会館の誘導施設設定
まちづくり活動	<p>【まちづくりカフェ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の互助力強化のため、「まちづくりカフェ」で4つのプロジェクトを展開。 ○ものづくり ○自給自足 ○ウォーカーズ ○蔵プロジェクト ・ 今年4月に「まちづくりカフェ活動拠点」を開設。 ・ 今後、町内会、民生委員など、様々な主体が繋がって地域を支える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の機会・場所の拡大 ・ 関連活動団体との連携拡大 	<p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き地・空き店舗解消と活動場所の確保 <p>【実現に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の支え合いに向けた、各主体の連携拡大 <p>【立適】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交流機能の誘導 ・ 文化機能（文化会館、図書館、追分会館）の誘導施設の設定
	<p>【その他の活動拠点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かあちゃん食堂「たまりば」 ・ いにしえ資源研究会活動拠点（皐月蔵） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 類似した地域密着型事業の掘り起こし 	

■「まちづくりのツボマップ」作成に伴う地域の課題と、解決の視点・方向性について（その4）

カテゴリー	現状・課題	今後の可能性 解決の方向性・視点	都市マス・立地適正 化計画への反(案)
公共交通	<p>【全町的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉有償運送の民業圧迫へ配慮が必要。 ・スクールバスの一般客混乗の検討経過あり。 ・ICカードの導入の問題。 ・免許返納問題への対応が必要。 ・利用の低迷～利用法の周知不足。 <p>-----</p> <p>【高齢あんしん課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通利用ニーズは中心街に多い。 ・公共交通に依らない移送サービスも幾つかある。 ・全ての高齢者に一律水準のサービス提供は困難。 ・全ての高齢者が本当にサービスを必要としているのか見極める必要がある。 <p>-----</p> <p>【町民福祉課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉タクシー助成、利用の低迷。 <p>-----</p> <p>【まちづくり推進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上ノ国～道立病院のバス路線以外は乗車密度を確保していない→利用促進が課題。 <p>-----</p> <p>【北部地区について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗合タクシーを鹹川～小黒部間で運行。小黒部で乗り換え→改善要望有 ・南部地区とのサービス水準のバランス必要。 ・交通量の少ない区間では、“フリー乗降”が導入しやすいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情（北部・江差市街地・南部）に合った交通移送体系の構築 ・民間企業・コミュニティとの連携 ・きめ細かなサービスによる満足度の向上（フリー乗降など） ・“乗り方”の周知 	<p>【道路・交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹的な海沿い・国道のバス交通ネットワークの維持・確保 ・北部・南部や市街地内のきめ細かな移送サービスの検討 <p>【実現に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【立適】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘導施策のうち、江差市街地内の公共交通ネットワーク強化に関する施策
教育・人材育成	<p>【小中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江差中学校区をコミュニティスクール化。地域の人が講師を務めるなど運営に参画。 ・江差北小中学校が今年度から小中一貫校。 ・江差に愛着を育む「ふるさと教育」実施。 ・市街地2小学校は、長期的には施設規模の大きな江差小に統合するのでは。 ・スクールバスは大潤町以北で運行。高齢者の乗合も検討できないか。 ・中学生の98%が部活動に参加。最近は教員の就労環境改善のため、部活しない日を設けている。→部活休みの日に生徒が行く場所がない <p>-----</p> <p>【江差高校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力アップや入学者確保に向けた取り組み（小学生の高校体験、OB説明会等） ・授業を選ぶ「単位制」導入により学業への意欲、生活態度等が改善。PRされるべき。 ・学祭、体育祭がかもめ島祭りやバッティング→地域と繋がる機会が失われている。 <p>-----</p> <p>【運動施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校体育館の夜間・休日開放（団体向け） ・江差町には総合体育館がない。 ・陸上競技場は公式試合対応。中体連が開催。 <p>-----</p> <p>【生涯学習の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の活動～シニアカレッジ、スポーツ少年団等 ・以前地域大学が盛んに開催されたが、このような学びの機会がなくなったのは残念。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域との接点の拡充 ・教育環境の更なる充実（小中一貫校） ・高校の行事や活動と地域の行事・イベントとの連携強化 ・まちなか運動施設の兼用や新設（個人向） ・遊び場との兼用 ・生涯学習の場の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建物や空き家・空き店舗を使って 	<p>【土地利用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者はじめ各世代が集まり憩える拠点づくり（まちなか拠点） <p>【道路・交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の交通サービスの有効活用の検討（スクールバス等） <p>【実現に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の各主体との連携 ・観光・イベント・祭り、地域の行事との連携 <p>【立適】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流機能の誘導施設の設定 ・文化機能（文化会館、図書館、追分会館）の誘導施設の設定